

AI活用ガイド

ゼロから構築する変革戦略



目次

はじめに

01

第1章

AI 入門: AI とは何か、その仕組みと必要性、ROI

04

第2章

AI の倫理性、公平性、制御性を維持する

13

第3章

疑念を信頼に変える: チームと進める変革の道

17

おわりに

AI 活用の未来はあなたの手の中に

22

はじめに

現在のデジタル環境において、AI は企業が存在感や効率を高めるための変革的な力となっています。カスタマーエクスペリエンス向上から業務の効率化まで、AI はデータに基づいた自信ある意思決定を支え、組織の成長を後押しします。

このロードマップでは、技術的な実装と戦略的なビジョンのバランスを取りながら、AI の導入を進めていく道の手順をご案内します。具体的な内容は以下の通りです。

- 1 AI の複雑さを理解し、その変革的な役割を把握することで、**課題を克服する**
- 2 倫理ガイドライン、運用ルール、業界標準に沿って、**適切なかたちで AI を導入する**
- 3 コラボレーションと継続的改善が自然に行われる文化を築き、**イノベーションを推進する**

本ガイドは、Asana の [Work Innovation Lab](#) と、AI の安全性および研究において最先端の企業である Anthropic が協力して行った調査をもとに、Asana の AI に関する全体的な方針を反映し、AI 導入の成功をサポートすることを目指しています。



AI 入門 AI とは何か、 その仕組みと 必要性、ROI



生成 AI は、人間の考え方を模倣するモデルを提供し、人間の知能が必要とされるようなタスクを機械で実行できるようにします。他にもこんな用語を耳にしたことがあるかもしれません。

- ✦ **機械学習 (ML):** データから学ぶことで、プログラムを書き換えることなく性能を向上させることを目的とした、AI の一分野です。たとえば、おすすめ商品の提案やスパムメールのフィルタリングなどに使われています。
- ✦ **ディープラーニング:** 複数の層を持つニューラルネットワークを活用してデータを解析し、パターンを見つけることで、複雑なデータセットを分解できる強力なツールです。Siri や Alexa のような音声アシスタント、またはスマートフォンのロックを解除するときの顔認証などがその例です。
- ✦ **自然言語処理 (NLP):** コンピューターが人間の言語を理解、解釈、生成できるようにする技術で、知的な会話やテキスト分析を可能にします。スマートフォンでテキストを打つときの自動修正や予測変換、カスタマーサービスのチャットボットなどがこれに当たります。

これらの AI 技術は一体となって、さまざまな業界に大きな進歩をもたらす、革新的なソリューションを開発するための基盤を形成しています。

AI 導入の 5 つのステップ

AI を導入するとき、スイッチを一度押せばすべてのワークフローに AI がシームレスに導入され、社員もすぐに使いこなして生産性を上げたり、質の高い成果を出せるようになる... というわけにはいきません。AI 導入の道のりは旅のようなもので、その途中には必ず障害が立ちはだかります。

ただし、どのような過程をたどるのかをあらかじめ把握しておけば、課題に一つずつ対処しやすくなります。Asana の Work Innovation Lab は、Anthropic の協力のもと、5,007 名のナレッジワーカーを対象に調査し、AI 導入の 5 つのステップを特定しました。

1

AI への懐疑期

組織は AI の可能性を認識し、その多様な活用法を模索し始めます。

2

AI の活用開始

この段階では、さまざまなパイロットプロジェクトを立ち上げて効果を検証し、直接体験することで理解を深めます。小規模な実験を行うことで、社員が AI の影響と価値を理解するのに役立ちます。

3

AI を使った実験

成功した取り組みを踏まえて、AI の導入規模を拡大し、本格的なプロジェクトに移行します。より広範な、組織規模の AI 導入における課題に取り組む、重要な段階です。

4

AI の拡大

AI が業務に統合され、ワークフローやプロセスの形が変化します。この時点で、AI は単なる補助的なツールではなく、業務戦略の中核を担う存在となります。

5

AI の成熟

AI を高度に活用し、組織に変革的な成果をもたらします。AI の能力と組織の目標が深く戦略的に結びついている状態です。

AI の成熟段階へと進むには、技術の導入だけでは足りません。複雑な要因に包括的に取り組む必要があります。私たちはこれらの要因を「AI 導入の 5 つの C」と呼んでいます。

AI 導入の 5 つの C

理解 (Comprehension)	懸念 (Concerns)	コラボレーション (Collaboration)	コンテキスト (Context)	キャリブレーション (Calibration)
社員は AI の使用方法をどの程度理解しているか？	AI について、社員が最も懸念していることは何か？	AI とのコラボレーションの現状と理想は？	AI の導入にあたり、組織が持つ AI ポリシー、ガイドライン、原則は？	AI の有効性や価値をどのように測定するか？
✦ 働き手の半数以上 (56%) が、自発的に AI の学習に取り組んでいます。組織全体の AI リテラシーを高め、理解を深めるためには、正式な教育、トレーニング、スキルアップの取り組みに投資する必要があります。	✦ ツールの選択において、働き手の 69% は「信頼性」を最優先の懸念事項として挙げています。しかし、多くの企業は質の低いデータで AI を導入しており、非常に不満の多い結果を招くことがあります。	✦ 企業は、人間とコラボレーションできる AI システムに投資する必要があります。AI を単なるツールではなく「チームメイト」として捉える働き手は、33% 高い割合で生産性が向上したと報告しています。	✦ 組織のうち、社内の AI ガイドラインを策定しているのはわずか 13% です。しっかりとした AI ポリシーと原則は、社員が AI を責任を持って活用、導入するための指針として不可欠です。	✦ AI の影響と価値を測定することは重要です。しかし、41% の組織は AI ツールに関する社員のフィードバックを一切収集していません。測定していないものは改善できません。

AI の真の成熟を達成するには、技術と組織文化の両方にバランスよく注力し、組織の持続的なイノベーションと成長の土台となる、調和の取れた導入を実現する必要があります。つまり、すぐに達成できるものではありません。上質な人間関係のように、社員が AI に対する信頼感を築き、自信を得るには時間がかかります。



“

AI の導入が成熟した段階にある組織は、AI を単なるツールではなく、協力的なパートナーとして扱っています。また、安全性や信頼性、人間中心のアプローチを優先しながら、リソースやトレーニング、徹底したポリシーの作成に投資しています。これらの成熟した AI 導入企業は、未成熟な企業と比べて、生産性の向上をより大きく実現し、さまざまな業務で AI の活用範囲を広げています。このレポートでは、AI 導入を成功させるには、技術だけでなくチェンジマネジメントが重要であることが明らかになりました。

Rebecca Hinds 博士

Asana Work Innovation Lab 所長



AI の道を切り拓く

多くの企業が、目標達成のスピードを速めるために AI の活用を始めています。たとえば、世界的な金融機関である Morningstar の場合、以前は、仕事リクエストを評価するプロセスとして、各リクエストを手動で確認し、不足している情報についてフォローアップを行い、ステークホルダーからさらに情報を集めて、タスクをロードマップに追加するかどうかを判断していました。

Asana AI スタジオを活用して、仕事を受け付けるためのスマートワークフローを構築することで、Morningstar は 1 つのワークフローあたり平均 10 日間のスケジュール短縮を実現しました。スマートワークフローを活用することで、手動でのトリアージを最小限に抑えられるだけでなく、プロジェクトの優先順位や規模に基づいた提案を受け取ることができます。これにより、ロードマップ上の適切な作業をより迅速に遂行し、開発前の遅延を減らすことが可能になります。

“

以前は、必要な情報を集めるのに 2 週間かかっていました。Asana AI が必要な情報をすぐに特定し、取り込んでくれるため、手動でのやり取りに費やす時間を削減できるようになりました。

Belinda Hardman 氏

Morningstar、プログラムマネジメント部門、部長

”



AI の導入事例: メリット、障壁、ROI

Morningstarをはじめ、Asana のトップユーザー 500 社の 98% が Asana AI を使用しており¹、その導入によって効率の向上、コスト削減、データ分析を通じた意思決定の強化など、ROI の向上につながる大きなメリットが証明されています。一方で、連携の複雑さ、データプライバシーに関する懸念、(AI 導入による) 職務内容の変化といった課題が導入を妨げる可能性もあります。これらの課題に対処するには、慎重な計画と明確な倫理ガイドラインが必要です。

¹ 2024年 5月現在、AI を有効にしている顧客が対象



AI のメリット

AI は、反復的な日常業務を引き受けたり、大量のデータを分析したり、重要なインサイトを提示したりすることで、チームの頼もしい味方として創造的な働き方を促進してくれます。AI の目的は、人の仕事を奪うことではなく、アシストすることにあるのです。もちろん、AI がもたらすメリットはチームによって異なります。



マーケティング

Marketing AI Institute は、AI をより受け入れやすい存在にするために取り組んでいます。同組織は、計画、制作、パーソナライゼーション、プロモーション、パフォーマンス測定など、マーケティングのあらゆる側面において AI を活用するためのフレームワークを提供しています。実際、AI を人間中心のアプローチで導入することで創造性が向上する可能性を示す証拠もあります。人間中心のアプローチとは、AI をパートナーとして捉えることをチームに奨励すること、人間の意思決定を AI システムに組み込むこと、そして透明性と説明可能性を重視することを指します。



IT

AI は、IT チームにさまざまな大きな利点をもたらします。たとえば、ソフトウェアの更新やシステムメンテナンスといった日常業務を自動化することで、より複雑な課題に集中できるようになります。また、リアルタイムの脅威検知や自動処理により、サイバーセキュリティを強化します。さらに、予測分析を活用することでシステム障害を未然に防ぎ、ダウンタイムを最小限に抑えることができます。AI を搭載したチャットボットは、ヘルプデスクに寄せられるよくあるリクエストを管理し、IT サポートの品質を向上させます。また、クラウド使用量やネットワークパフォーマンスなどのリソース管理を最適化することで、より効率的でコスト効果の高い IT 運用を実現します。



PMO およびオペレーション

PMO チームとオペレーションチームにおいて、AI はデータに基づくインサイトや予測分析を通じて意思決定プロセスの改善を促し、プロジェクトの予測精度を高める役割を果たします。スケジュール管理やレポート作成といった反復的な作業を自動化することで、効率を向上させ、エラーを削減します。さらに、ワークロードやタイムラインに基づくリソース配分の最適化にも貢献します。また、潜在的な問題を早期に特定することでリスク管理を強化し、リアルタイムの更新や自動化されたステータスレポートを通じてコミュニケーションを改善します。加えて、AI によってアジリティ (敏捷性) が高まるため、チームは変化するプロジェクト要件やビジネスニーズにすばやく対応できるようになります。

期待できる ROI

かつて未来の可能性として語られていた AI は、今や現実のものとなり、実際に利益を生む段階に達しています。IDC でコラボレーションおよびコミュニティ部門のリサーチバイスプレジデントを務める **Wayne Kurtzman** 氏は、2024年 IDC 年次コラボレーション調査の実施にあたり、北米と西ヨーロッパを対象にした最新の研究を行いました。「収益成長は、AI の活用に加え、すべてのコネクテッドワーカーが新しい時代のナレッジワーカーであることを認識することで実現します。組織内の 1 人ひとりが、AI にとって価値あるデータを保有しています。そのデータは、まさに意思決定に活用されている AI の基盤となるものです」と同氏は話します。「人工知能 (AI) が広く普及することで、私たちの期待値はさらに高まるでしょう。その知能は価値創造の基盤を成しており、生成 AI (GenAI) は未来を根本から革新する可能性を秘めた、変革的で多面的な機能を持つ存在として台頭しています。

AI の ROI には次のようなものがあります。

財務面	財務以外の面
✦ コスト削減 人件費および運営費の削減	✦ 顧客満足度の向上 ネットプロモータースコアの向上、顧客クレームの減少
✦ 収益増加 売上の増加、顧客生涯価値の向上	✦ 従業員の生産性向上 意思決定スピードの向上、エラーの削減
✦ 効率の改善 処理時間の短縮、スループットの向上	✦ イノベーションの促進 新製品の開発、プロセスの最適化

55%

職場で生成 AI を活用することに対して、わずか 6 か月前と比べて楽観的に感じていると報告した労働者の割合

78%

AI と人間の専門知識を組み合わせることで 成果向上につながると考える経営陣の割合

89%

生成 AI の日常的なユーザーのうち 生産性の向上を報告した割合

生成 AI ツールによる 生産性の向上 (使用頻度別)

生成 AI によって生産性が向上したと報告する労働者の割合



よくある障壁

生成 AI に関連する懸念は、未知のものに対する恐れに起因しており、その現れ方は AI の成熟度に応じて異なります。ステージ 1 (AI 成熟度が低い段階) では、労働者は主に生成 AI の仕組みを十分に理解していないことに不安を感じており、その懸念が職場で AI を活用することに対して最も高いレベルの懐疑心 (55%) につながっています。データによると、労働者の 29% は AI を使うことで「怠けている」と見なされることを心配しており、25% は AI に頼ってタスクを完了することに「不正である」と感じています。

しかし、AI に対する理解や専門知識が深まるにつれ、主な懸念は倫理的な問題へと移り変わります。この段階では、AI ツールの透明性を確保し、意思決定プロセスに関するインサイトを明確に示すことがより重要になります。

従業員は、継続的な学習と改善を受け入れることで、職場における AI 技術の効果的な導入を支える重要な AI 愛好者へと成長します。最終的には、こうした従業員の存在が、企業の持続的なイノベーションと市場におけるリーダーシップの確立を支える要因となります。IDC アナリストの Kurtzman 氏は次のように述べています。「AI は競争優位性をもたらします。AI の使い方を知ることで、その優位性を手にできます」



AI の倫理性、 公平性、制御性 を維持する



AI のポリシーや原則を明確に定義することは、規制への準拠において重要であるだけでなく、組織の差別化を図る戦略的な資産をつくることにもなります。従業員に対して AI の活用における責任と一貫性を確保するための明確なフレームワークを提供し、倫理的な AI 運用への取り組みを示します。その結果、顧客、パートナー、投資家との間により大きな信頼を築くことができます。

Kurtzman 氏は次のように指摘しています。「信頼はデジタル業務の中心にあります。信頼は少しずつ積み重ねて築かれるものですが、失うときは一瞬で崩れ去るものです。」信頼を築くには時間がかかりますが、まずは AI のプロセスや意思決定の基準をユーザーやステークホルダーに対してオープンにし、わかりやすく示すことで、意思決定がどのように行われ、何を基にしているのかを理解してもらうことが重要です。さらに、説明責任を明確にする仕組みも必要です。具体的には、役割と責任範囲を明確に定義することで、問題が発生した際に責任の所在を特定し、是正措置を講じることができるようにすることが重要です。

透明性の確保は、バイアスの特定や意図しない結果の防止に役立ちます。また、説明責任のプロトコルを適切に定義することにより、AI 主導の意思決定が監査可能で正当な方法で行われることが保証されます。

AI 倫理フレームワークの作成

AI システムの拡大に伴い、公平性、透明性、説明責任の原則に基づく倫理的なガイドラインを遵守し、規制や技術の進化に合わせて適応させることが重要になります。確固としたフレームワークを設定できれば、倫理的な問題に対応し、ステークホルダーの信頼を維持するのに役立ちます。AI モデルに対して定期的に監査を行うことは、さまざまなユーザーグループやデータ環境において信頼性の高いパフォーマンスを確保し、優れたスケーラビリティを実現する上で欠かせません。

大変な取り組みに聞こえるかもしれませんが、ご安心ください。これらの作業を 1 人で行う必要はなく、AI ツールの責任ある導入を監督する部門横断的な AI ガバナンス委員会または AI 評議会を設立することができます。そうすることで、AI が自社の価値観や目標に沿ったかたちで使用されるようになります。

AI 評議会は、通常、さまざまな部門や専門分野からなる多面的なステークホルダーで構成されます。右に、想定されるメンバーの具体例をご紹介します。

AI 評議会の主要メンバー：



最高 AI 責任者 (CAIO) または AI リード

CAIO は、AI に関連するすべてのイニシアチブ、戦略、および実装を統括します。通常、議長を務めます。



最高情報責任者 (CIO) または最高技術責任者 (CTO)

技術インフラやアプリ連携に関するインサイトを提供し、AI 戦略がより広範な IT 戦略およびインフラと整合するように確保します。



最高データ責任者 (CDO)

データガバナンス、品質、戦略を管理し、AI モデルに使用されるデータがプライバシー規制や倫理基準に準拠していることを確保します。



最高コンプライアンス責任者 (CCO) または法務顧問

法的リスクや倫理的な配慮に関する助言を行い、すべての AI 関連のイニシアチブが関連する法律や規制を遵守していることを確保します。



倫理担当者または AI 倫理専門家

AI 技術の倫理的影響に重点を置き、倫理ガイドラインやフレームワークの策定と監視を行います。



ビジネスユニットリーダーまたは部門長

AI のイニシアチブに直接影響を受ける各ビジネスユニットや部門を代表して参加します。それぞれの分野における実際の活用や潜在的な課題に関して、非常に重要なインサイトを提供します。



人事 (HR) 担当者

トレーニングやスキル再習得プログラム、チェンジマネジメントに関与し、AI が労働力に与える影響を監督します。



データサイエンティストと AI エンジニア

AI モデル、アルゴリズム、データ分析に関する専門知識を提供し、AI の導入計画が技術的に実現可能性であることを保証します。



マーケティング部門およびカスタマーエクスペリエンス部門の担当者

AI が顧客とのやり取りやマーケティング戦略をどのように強化できるかに関するインサイトを提供します。



外部顧問またはコンサルタント

これらの助言者は、学界、業界、コンサルティング会社に属しており、ベンチマークの設定やベストプラクティスの採用を支援するために、外部の視点や専門知識を提供します。

評議会はその設立後、次のような役割を担います。

- ✦ 組織全体における AI の戦略的導入とガバナンスを監督すること。
- ✦ ビジネス目標、倫理基準、および適用される規制要件に基づき、AI 関連のイニシアチブを調整すること。
- ✦ 業務を補完しうる既存または新たな戦略や技術を摸索すること。
- ✦ AI イニシアチブに関する予算および人材の配分を管理すること。



データのプライバシーとセキュリティに焦点を当てる

AI の性能は、活用されるデータの質に左右されます。そして、AI の利用によって組織のデータプライバシーが損なわれることを 31% の労働者²が懸念しています。こうした懸念により、堅牢なデータモデルに基づいて構築された AI 技術に投資することの必要性が高まります。このような投資には、機密情報を不正アクセスや情報漏えいから保護するための包括的なデータ保護対策が含まれます。ユーザーが AI の提案を精査でき、結果がどのように導き出されたかを理解できるツールを選ぶこともまた、懸念を払拭するために重要です。AI への信頼を高め、ユーザーが情報に基づいた効果的な意思決定を行えるようにすることが求められます。

また、AI システムが GDPR や CCPA などの既存の規制に準拠し、将来の法改正にも対応できるようにすることも重要です。これには、定期的な監査を実施する、暗号化技術を活用する、データ漏えいに効果的に対処するためのプロトコルを確立することが含まれます。

² 「職場における AI の現在地」、Asana の The Work Innovation Lab および Anthropic、2024年



疑念を信頼に変える

チームと進める変革の道



従業員の AI への関わり方には、人によって明確な違いがあります。積極的に取り組む人もいれば、懐疑的な人もいます。米国と英国の労働者のうち、生成 AI を日常的に使用しているのはわずか 25% にとどまり、経営幹部の 39% が日常的に AI ツールを利用している一方、一般社員では 18% にとどまります。また、政府や教育分野は AI の導入が遅れている一方で、テクノロジー分野では定期的に AI を利用する割合が 42% を占めており、先行しています。

組織が AI を導入する際に、見落としがちな重要な要素があります。それは「人間の要素」です。AI の可能性を最大限に引き出すためには、まず従業員にその技術を受け入れ、活用してもらう必要があります。しかし、それは簡単なことではありません。ほぼすべての組織が直面している課題です。

コミュニケーション戦略: 「AI マインド」の力

AI の導入を成功させるための鍵は、従業員が積極的に AI を活用して業務を向上させることにあります。AI を導入すること自体を目的とするのではなく、従業員が主体的に関与し、有意義な形で AI を業務に組み込むことで、真の成果が得られます。従業員の 41% が AI に対して懐疑的であることを踏まえると、これらの懐疑派を愛好家に変えることが不可欠です。

本調査は、以下の 3 つの「AI マインド」アプローチを通じて行われました。

愛好家

生産性と創造性における利点を示すことで、AI への熱意を促進する

懐疑派

懐疑的な意見に耳を傾け、それらを解消することで、安全な AI 導入の基盤を築く

懐疑派から愛好家への転換

AI に対する意識を前向きなものへと転換させる
試み

調査の結果、AI に対する従業員のマインドを変えることは可能であるものの、それには特定の条件が必要であることが明らかになりました。AI 愛好家と AI 懐疑派への介入はいずれも、前向きな変化を維持しました。特に、従業員に対して AI の利点を説明し、懸念を解消することで、AI を受け入れる動機づけを効果的に行いました。一方、「懐疑派から愛好家への転換」を目指すアプローチは効果が薄く、従業員にとっては AI の導入過程が複雑すぎるようでした。これらの知見は、前向きな意識を醸成すること、または懸念に具体的に対応することに注力する方が、劇的な意識変革を試みるよりも効果的であることを示しています。[詳しく読む](#)。



トレーニングとリスクリング のプログラム

先に述べたように、AI をチームに導入するだけで結果が得られるわけではありません。従業員をしっかりと訓練し、ガードレールを慎重に設定する必要があります。

AI を効果的に活用する方法のトレーニングを提供している組織のマーケティング担当者は、職場での AI 活用を積極的に支持する可能性が 57% 高い傾向にあります。

教育とスキル開発は、AI に対する前向きな態度を育む上で非常に重要です。より包括的なトレーニングプログラムと部門横断的なAIガバナンス委員会を設ける必要があります。これにより、マーケティング担当者が AI を効果的かつ倫理的に活用するためのスキルと知識を習得できるようサポートできます。また、責任ある AI 活用への取り組みをトップダウンで示し、AI イニシアチブに積極的に参加することで模範を示すことが求められます。

このギャップを埋めるためには、すべての職務レベルで AI 活用を促進する戦略を組織的に実行することが重要です。従業員の AI に対する前向きな意見や懐疑心を理解することが鍵となります。個々に合わせてカスタマイズされたトレーニングを提供することで、AI に対する誤解が解消され、チームが AI を業務改善のためのツールとして認識できるようになります。また、透明性のあるコミュニケーションと低リスクでの実験の機会を提供することで、移行を円滑にし、AI 連携に向けた統一的なアプローチを育むことができます。



驚くべきことに、生成 AI ツールにほとんど、またはまったく馴染みがないナレッジワーカーの割合は 64% にのぼります³。従業員に対して、好奇心を持ち続けること、質問をすること、新しい可能性を探ることを奨励しましょう。まずは次のことに取り組みましょう。

 **トレーニングプログラムをカスタマイズする**
特定の AI マインドセットに対応したカリキュラムを設計し、従業員が導入時の障壁を克服し、必要な AI スキルを習得できるよう支援しましょう。

 **リソースを開発する**
AI を具体的に理解してもらうために、役割に応じた AI のユースケース集を作成し、組織内の各部門でさまざまなシナリオにおいて AI をどのように活用できるかを示しましょう。

 **継続的なサポートを提供する**
ワークショップやセミナー、オンラインコースを通じて継続的な学習の機会を提供しましょう。また、ハッカソンのようなイノベーションの場を作り出すことも効果的です。さらに、専門家による AI の「オフィスアワー」を設け、特化した指導を受けられる場を提供しましょう。

 **チャンピオンを見つける**
AI イニシアチブの成功は、従業員にかかっています。従業員の理解と協力を得ることで、この革新的な技術の可能性を最大限に引き出すことができます。社内の AI チャンピオンを見つけ出し、これらの従業員が知識や熱意を共有できるよう支援しましょう。

³ 『AI マインドセット: 職場で AI の可能性を解き放つための鍵』、Asana The Work Innovation Lab、2024年

 **プロセスを称賛する**
AI への習熟度を先天的な能力として捉えるのではなく、学習と成長を重視しましょう。AI で成功を収めるには、組織全体が AI の進化し続ける能力を試しながら、それを最も効果的に活用する方法を見出すことが求められます。従業員が AI スキルを習得するために費やした努力や戦略、そして進捗を称賛しましょう。最終的な成果だけでなく、継続的な学びの過程を評価することで、AI 導入における課題を必然的なこととして受け入れ、スキルの継続的な向上を促す文化を育むことができます。

 **挫折から学ぶ**
実際のところ、それらを「挫折」と呼ぶべきではありません。それらを貴重な経験と成長の糧として捉えましょう。何が問題だったのかを分析し、改善点を特定し、今後の計画を立てるプロセスに懐疑的な従業員を巻き込みましょう。また、失敗を恐れずに試行錯誤できる「安全な場」を作り、従業員が自由に実験できる環境を整えることが重要です。

 **進捗状況をモニタリングする**
従業員のエンゲージメント、AI ツールの導入率、生産性向上などの指標を用いて、トレーニングの効果を定期的に評価しましょう。これらのインサイトを活用して、プログラムを改善していくことが重要です。

これらのアプローチを組み合わせることで、組織の AI 導入プロセスを前進させるグロースマインドセット (経験や努力次第で成長することができると思える思考) を育むことができます。従業員は、継続的な学習と改善を受け入れることで、職場における AI 技術の効果的な導入を支える重要な AI 愛好者へと成長します。

成功を測定し、改善を推進

AI 導入の有効性を評価するには、さまざまな視点を組み合わせる必要があります。たとえば、次のような要素を考慮します。



技術的パフォーマンス指標

(正確性、遅延、リコールなど)



ビジネスインパクト指標

(ROI、コスト削減、顧客満足度など)



ユーザーエクスペリエンス指標と倫理的配慮

(バイアス、公平性、コンプライアンス)

適切な指標を選定することで、AI ソリューションが技術的な期待事項を満たしているか、また、ビジネス価値をもたらしているかを追跡できます。AI 導入前に、パフォーマンスのベースラインを設定しておくことが重要です。このデータは、比較の際の基準となります。AI を導入する前に、リーダーがベースラインデータを収集し、システムが改善されるたびに定期的に再評価するようにしましょう。

フィードバックループと反復

AI の急速な進化に伴い、フィードバックループは不可欠になりました。しかし、従業員の 41% が、リーダーが生成 AI ツールの職場での使用に関するフィードバックを積極的に求めていると回答しています。現場の従業員は AI の有効性に関する貴重なインサイトを持っているため、リーダーは明確なフィードバックチャンネル (アンケート、フォーカスグループ、定期的なミーティングなど) を構築し、そのフィードバックを調整プロセスに反映させる必要があります。



AI 活用の 未来はあなたの 手の中に



ここまでお読みになった方は、AI を自社のビジネスに責任を持って効果的に組み込む方法について深くご理解いただけたはずです。これらのツールや戦略を活用することで、ご自身をはじめ、貴社において次のことを実現できます。

01

初期段階の懐疑心を乗り越え、明確なコミュニケーションと強力なチェンジマネジメントを通じて、導入を促進する。

02

AI を倫理的かつ透明性を持って導入し、コンプライアンスを達成するとともに、組織内での信頼を築く。

03

AI を活用して反復的な日常業務を排除し、チームがより創造的で戦略的、かつ影響力のある仕事に集中できるようにする。

AI を受け入れることは、最先端技術を使うことにとどまらず、企業の未来を再構築することを意味します。具体的には、より革新性があり、効率的で人間中心なアプローチを取ることです。新たな創造性を引き出し、チームが働き方を再構築できるように力を与えましょう。現状を乗り越え、さらなる発展を遂げた貴社の未来が訪れるでしょう。



AI スタジオ

カスタム AI ワークフローを Asana で活用



新たにリリースされた **Asana AI スタジオ** (コーディング不要のワークフロービルダー) を使用すれば、Asana 内で AI をワークフローにシームレスに組み込むことができます。プログラクマネージャーやオペレーション、IT などのワークフローオーナーは、それぞれの独自プロセスに合わせて、AI エージェントがシームレスに埋め込まれた「スマートワークフロー」を構築できます。

これらの**スマートワークフロー**は、プロジェクトの受け付け、製品リリース、リソース管理などの一般的なビジネスプロセスに対応した形で作成できます。

“

AI スタジオを使えば、AI がチームの既存のワークフローに埋め込まれているため、ChatGPT のような外部のアプリケーションやツールを探して使う必要がありません。すでに仕事が行われている場所に AI が埋め込まれており、自動的に動作します。

”

Michelle Kim 氏

Asana、AI スタジオプロダクトマネージャー

ベータテストでは、**Clear Channel Outdoor** のような顧客が時間を節約できる有望な結果を得ており、これが可能性を示しています。「私たちは、クリエイティブ制作プロセスの受け付け段階での手作業を 60% 削減でき、1 件あたり 15 時間の節約に成功しました」と、Creative & Marketing Operations の副社長である Jennifer Kordosky 氏は述べています。「月に 2,500 件以上のリクエストを処理するクリエイティブチーム全体でスマートワークフローを導入した際に、その効果が大規模に測定することを楽しみにしています。控えめに見積もっても、これにより何千日分の作業時間を節約できる可能性があります。

AI スタジオを活用することで、誰もが仕事を任せやすくなり、反復的な手作業を排除して、インパクトの大きな仕事に専念できるようになります。以下に、ベータ版プログラム中に顧客が体験した改善の例をご紹介します。



クリエイティブ制作

情報を一つひとつ確認し、手動で翻訳する代わりに、チームは即座に背景調査と自動翻訳を活用できました。



キャンペーン管理

チームは、ゼロから要旨の下書きを作成する代わりに、ベストプラクティスに基づいた AI 生成コンテンツを組み込めるようになりました。



プロジェクトの受け付け

チームは、リクエストを手動で収集して分類する代わりに、一貫性のある情報の収集、トリージ、構造化を瞬時に行えるようになりました。



製品リリース

AI によって作業が自動的に再構築され、部門間でスムーズな引き継ぎが確立されたことで、チーム間の非効率的な調整に苦しむ必要がなくなりました。

現在、Asana AI スタジオへの早期アクセスは、新規の Enterprise および Enterprise+ プランのお客様にご利用いただけます。ご利用になる場合は、管理者の方にご連絡の上、管理者コンソールで AI スタジオを有効にするよう依頼してください。詳細は[こちら](#)。他のティアにも一般提供されるときに通知を受け取るには、[ウェイティングリストに登録](#)してください。





さらに詳しいリソースをお求めですか？

「職場における AI の現在地 2024」レポートをお読みください。

今すぐ確認

スキルを磨いてみませんか？

「Asana AI スペシャリスト」スキルバッジを取得しましょう。

始める